

総務教育常任委員会資料

(平成25年12月13日)

〔 件 名 〕

- ・ 緊急雇用創出事業の予備枠による事業の追加実施について
【税務課】・・・1
- ・ 全国障がい者芸術・文化祭の実施体制について
【業務効率推進課】・・・2
- ・ 関西圏における冬期の情報発信について
【関西本部】・・・3
- ・ 名古屋における情報発信等について
【名古屋代表部】・・・5
- ・ ミニたたら体験ワークショップの開催について
【西部総合事務所日野振興センター】・・・6

総 務 部

緊急雇用創出事業の予備枠による事業の追加実施について

平成25年12月13日

税 務 課

- 1 緊急雇用創出事業の県事業予備枠を活用して追加実施することとした事業費
 (11月30日までに追加実施を決定した事業) 2,106千円

2 追加実施事業の内訳

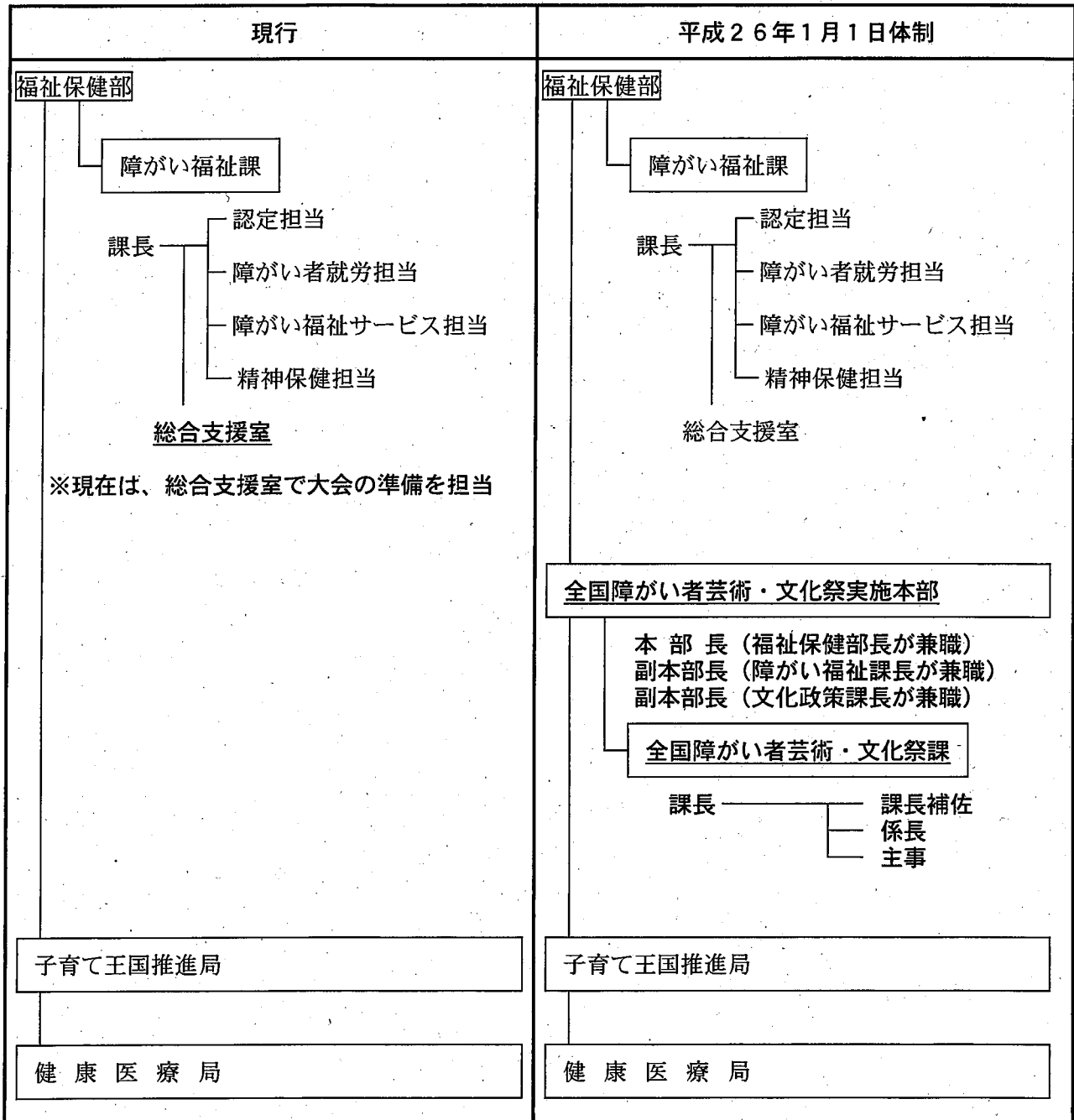
| 事業名 | 本年度予算額 (うち新規雇用人件費) | 雇用創出人数 (延べ) | ①月額給料(与) | 事業内容 |
|-----------------------|-----------------------|----------------|---|--|
| | | | ②雇用期間(予定) | |
| | | | ③被雇用者の要件 | |
| 自動車税に係る運輸支局職権抹消登録促進事業 | 2,106千円 (1,806千円) | 3人 | ①115千円 ②H25年12月 ~H26年3月 ③パソコンのワープロソフト(ワード、一太郎等)及び表計算ソフト(エクセル等)を使用した文書作成などの操作能力を有していること。 また、自動車運転免許証を有していること。(ただし、過去1年以内に運転免許証の取消し又は停止処分を受けた者を除く。) | 自動車税に係る自動車の運輸支局職権抹消登録事務再開に伴う、解体証明・ナンバープレート返納書等の調査・資料作成業務 |
| 合計 | 2,106千円 (1,806千円) | 3人 | | |

※この事業は「緊急雇用創出事業臨時特例基金」を活用して実施する事業です。

全国障がい者芸術・文化祭の実施体制について

平成25年12月13日
 行財政改革局業務効率推進課
 福祉保健部障がい福祉課

平成26年度に実施する「第14回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会」の実施のため、平成26年1月1日付けで、福祉保健部内に「全国障がい者芸術・文化祭実施本部及び全国障がい者芸術・文化祭課（定数：7名）」を設置します。



関西圏における冬期の情報発信について

平成25年12月13日
関 西 本 部

■ スカイマーク神戸-米子便新規就航に係るPR

12/20(金)に新規就航する神戸-米子便について、路線自体の認知度を高める必要があることから、各種メディア等を活用して幅広く路線PRを行うもの。

関西本部においては、スカイマーク便のPR対象を神戸市及び神戸市以西の兵庫県内とし、当該エリアをターゲットとしている媒体を中心にPRを行うこととし、神戸市(みなと総局空港事業室)と連携してPRに努めることとしている。

【神戸市と連携したPR】

1 イベントでのPR

- (1) 神戸空港「空の日イベント2013」でのPR

日時：平成25年11月10日(日)

場所：神戸空港 ※新規就航先PRとして、米子市及び米子市観光協会とともにPR

- (2) 就航日イベント

日時：平成25年12月20日(金)

場所：神戸空港 ※関西本部による初便出発時に搭乗者のお見送り行事、神戸市による初便到着時の歓迎行事を予定

2 マスコミに対するPRや各種媒体広告掲出

- (1) マスコミキャラバン(10月23日)

在神戸マスコミ各社を訪問し、新規就航をPR(皆生温泉女将、とっとり観光親善大使等)

【結果】神戸新聞、読売新聞、朝日新聞に掲載

- (2) 各種媒体広告

・神戸新聞(11月29日)

3 その他

- ・神戸市役所及び各区役所等でのポスター掲示
- ・街頭キャンペーンによるPR
(12月16日、ポートライナー三宮駅改札前) ※予定
- ・ポートライナー各駅にポスター掲示
- ・神戸空港出発ロビーへのポスター掲示とチラシ配架

【鳥取県単独でのPR】

1 イベントでのPR

- (1) “Japan Pop Culture Festival 2013”でのPR

日時：平成25年10月26日(土)・27日(日)

場所：関西空港 ※神戸空港まで約30分で結ぶ高速船「神戸-関空ベイシャトル」があるため。

- (2) 「新世界なつかしの昭和マチアソビ!」でのPR

日時：平成25年11月30日(土)・12月1日(日)

場所：大阪市浪速区恵美須町界隈

2 各種媒体広告掲出

- ・旬刊旅行新聞(10月21日号)(旅行エージェント向け)
- ・ぴあMOOK『関西冬食本』(11月21日発売)
- ・神戸新聞(12月1日、12月2日)
- ・産経新聞(兵庫県下版)(12月19日) ※予定
- ・サンケイリビング(神戸東版・神戸明石版、年末年始号) ※予定
- ・シティライフ(阪神版、1月号) ※予定
- ・大阪スポーツ(お正月特別号) ※予定
- ・朝日放送「おはよう朝日・土曜日です」(関西ローカル、1月) ※予定

3 その他

- ・鳥取県ファンの集い in 関西(9月28日、リーガロイヤルホテル)にてPR
- ・鳥取県産品を積極的に販売PRする「食のみやこ鳥取県」推進サポーター『いしはら商店』(神戸市灘区水道筋1丁目商店街)へのポスター掲示とチラシ配架
- ・県内市町等による在神戸旅行エージェント回りによるPR
- ・関西本部ホームページ及び関西本部メールマガジンでのPR
- ・その他、鳥取学出前講座や関西地区鳥取県人(友)会の各種集まり、同窓会などでのPR

【参考】運航便 1日2往復 ※機種はボーイング737-800(177人乗り)

- ①121便(7:55神戸⇒8:35米子) ②122便(9:15米子⇒9:55神戸)
③127便(19:35神戸⇒20:15米子) ④128便(20:55米子⇒21:30神戸)



神戸空港
出発ロビー

■『新世界なつかしの昭和マチアソビ!』への出展

昭和の香りが残る街“新世界”は、今年4月1日に「昭和村」を宣言し、昭和の街並みや文化を後世に伝えていき新世界の活性化を図る取組を実施されており、新世界100周年実行委員会において初めて企画されたもので、これに鳥取県として出展しました。

- 開催日時 平成25年11月30日(土)～12月1日(日) 11:00～16:00
- 開催場所 大阪市浪速区恵美須町界隈
- 出展内容
 - ・倉吉市から借用した「昭和の食卓」を展示(ホーロー看板なども展示)
 - ・わらべ館から借用し「むかし遊び」の体験コーナーの設置(剣玉、ヨーヨーなど)
 - ・しゃんしゃん傘の展示(傘を持っての記念撮影など)
 - ・県内観光パンフレットなどの配架
 - ・サブステージでは、紙芝居やアコーディオン演奏(鳥取ゆかりの童謡唱歌)など



ブースでは、倉吉市からお借りした昭和の食卓を展示



サブステージでアコーディオンや紙芝居などを披露

《新世界と鳥取県の連携》

昨年7月に100周年を迎えた大阪・新世界では、地元大阪出身の漫画家「ゆでたまご先生」の代表作「キン肉マン」を起用して、様々な地域振興が行われており、昨年「まんが王国とっとり」を建国した鳥取県も連携して取り組みを行い、今年度も引き続き通天閣にあるキン肉マンミュージアム内に「まんが王国とっとりコーナー」を設置しています。(ビリケンさんに「砂丘らっきょう」や「松葉がに」の奉納も行ってます。)

■ 阪急3番街バスターミナルへの広告掲出

日本交通の鳥取便も発着する阪急3番街バスターミナルの待合室に、冬の鳥取県への誘客を図る広告を掲出しているもの。

- 掲出期間 平成25年11月20日(水)～平成26年2月17日(月)の90日間
- 媒体概要 日本交通や阪急バスをはじめ高速バスが多数乗り入れている大阪市における高速バス的一大ターミナルとして運用され、関東以西の各地に向かう多くの人が集う待合室である。

【広告イメージ】 ※待合室にある時計の右側という注目度の高い場所へ掲出しています。

この冬鳥取を楽しもう!!



食

冬の味覚の王様!



遊

夜でも楽しい!



癒

ほっこり!



鳥取自動車道全線開通
鳥取⇄大阪
2時間30分!!(※)
(※)高速バスの所要時間ではありません。
高速バスも運行中!!

【お問い合わせ】
鳥取県関西本部(大阪市北区梅田 1-1-3-2200 大阪駅前第3ビル 22F)
TEL.06-6341-3955

メールマガジンも発行中!!

毎月プレゼントの当たる
スタンプラリー実施中!



■ スマートフォンを活用したスタンプラリー「スマホde鳥取ぐるぐるーんらりー」

9月1日(土)から実施しているもの(8月21日の常任委員会で報告)で、位置情報が取得できるスマートフォンを使い、チェックポイントに着くと画面上でスタンプを押すことができ、スタンプを3つ以上集めるとプレゼントに応募することができるもので、現在はコースも7つに増え引き続き実施中です。(平成26年2月28日(金)まで。)

スマートフォンで読み込んでスタート!



名古屋における情報発信等について

平成25年12月13日
名古屋代表部

1 「冬のふるさとフェア」及び「ふるさとの干支・民芸品展」の開催

中日ビル入居各県で構成する「全国物産観光センター連絡協議会（会長県：鳥取県名古屋代表部）」が主催するフェア等において、2週にわたって県産品のPR等を実施しています。

(1) 第10回冬のふるさとフェア～全国センター合同物産観光展～

○会期等 12月2日（月）～12月6日（金）中日ビル4階会場

○参加県等 鳥取県他（物産販売16県、観光資料展示4団体）

○来場者 約3万人

○鳥取県ブースの出展内容

- ・販売商品：とうふちくわ、氷温熟成お米、砂丘らっきょう、あご入りだし、大山ハム、長いも等
- ・今回の目玉商品：秋の味覚、お正月用商品「あんぼ柿、氷温熟成まる餅、ゆずとうふちくわ」

○概要 ・テレビの生放送番組や中日新聞で鳥取県の「とうふちくわ」が中継、紹介されマスコミでも広く県産品をPRできました。

・鳥取県ブースでは「とうふちくわ」や「砂丘らっきょう」などがお客様に大好評でした。

(2) 「ふるさとの干支・民芸品展」

○会期等 12月9日（月）～12月13日（金）中日ビル4階会場

○概要 鳥取県を始め各県の民芸品を広く紹介、PRしました。



ふるさとフェアの様子

2 鳥取のクリスマスイベントのPR

中日スポーツ紙面で「砂の美術館 3Dプロジェクションマッピング」など冬の魅力を紹介しました。

3 「鳥取県企業立地トップセミナーin名古屋」のフォロー活動等について

11月22日に名古屋市内で開催したセミナーにおいて行ったアンケート結果及びセミナー後のフォロー活動の状況は以下のとおりです。

(1) 参加者アンケートの集計結果概要（中京圏の参加者対象）

| | |
|----------------|---|
| 回答数 | 67（製造業23、技術サービス・広告9、情報通信8、卸・小売5 他22） |
| 鳥取県のイメージ | ①鳥取砂丘 ②海の幸 ③自然が豊か ④水木しげるロード ⑤温泉 |
| 鳥取県に対し興味を持った項目 | ①名古屋から近くなったこと ②災害リスクの低さ ③鳥取県の自然・温泉 |
| 主な意見 | <ul style="list-style-type: none"> ・「中京圏とのつながりを知ることができた」 ・「災害リスクの少なさ、アクセスの良さなど立地環境は良いと思った」 ・「最近鳥取県の露出をよく見る」等 |

(2) セミナー参加企業等へのフォロー活動について

一層の理解促進と最新の企業情報の把握のため、セミナー参加企業等への訪問活動等を行っています。

| | |
|-----------|--|
| 参加企業の感想 | <ul style="list-style-type: none"> ・「セミナーで知事から直接話を聞いて鳥取県がたいへん身近になった」 ・「鳥取県企業との連携ができないか考えたい」 ・「旅行等で鳥取県に行くことにした」等 |
| 県内の参加団体意見 | ・「鳥取県の認知度アップのため、このような活動を継続して行うことが必要」等 |

ミニたたら体験ワークショップの開催について

平成 25 年 12 月 13 日
西部総合事務所日野振興センター
日野振興局 地域振興課

西部総合事務所日野振興センターで取り組んでいる日野郡の地域資源である「たたら製鉄」の普及啓発について、総合事務所等地域課題解決事業を活用し、境港市教育委員会等と連携して、境港市繁栄のきっかけとなった「たたら」への理解・関心を高め、日野郡との相互の連携強化を図るため、「たたら製鉄」操業を実体験するミニたたら体験ワークショップを次のとおり実施しました。

- 1 事業名 総合事務所等地域課題解決事業
- 2 開催日 11月17日(日) 午前10時から午後1時30分まで
- 3 開催場所 海とくらしの史料館 (境港市花町8番地)
- 4 開催内容 たたら製鉄の砂鉄投入体験学習及びノロだし、鉬(ケラ)だし作業のたたら学習会
※ノロ:たたら製鉄時にできる溶解した不純物 鉬:たたら製鉄で作られた鋼の元の金属塊
※委託先:伯耆国たたら顕彰会(会長 佐々木幸人) 委託金額:1,684,500円
- 5 主催 鳥取県、境港市教育委員会、(一財)境港市文化振興財団

6 開催結果等

○平成25年9月に実施した因藩二十二士本圀寺事件150周年記念事業(本圀寺事件150周年記念講演会)で、日野郡と境港市の「たたら製鉄」を介する関係が深いことが再確認されたことから、この期をとらえて緊急的に実施したものの。

○会場の海とくらし史料館に約800人が来場し、境港市内等の児童生徒や保護者等の約70名が砂鉄投入を体験。たたら歴史や日野郡での操業状況等のたたら製鉄の情報発信ができた。

○「大切な鉄はこうして作られていたのか」や「三日三晩の製鉄作業は大変であったであろう」など、たたら製鉄の大変さや苦労を実体験された。また、熱い炎を前にしながらも参加者は積極的に砂鉄投入を体験し、また解説やパネル展示により日野郡におけるたたら製鉄への理解が深まった。

○海とくらしの史料館において、今回のワークショップで得られた鉬やパネル等を展示予定



会場全景と参加者



砂鉄投入体験



鉬だし作業

○たたら製鉄 : 砂鉄を原料に木炭の燃焼で砂鉄を還元し、鉄を得る日本の伝統的製鉄法

○境港市と日野郡のたたら製鉄の関係

- ・日野地域は全国でも有数のたたら製鉄の産地。最盛期には全国の和鉄生産量の8割以上を中国地方が占め、日野地域の産業形成や日本の近代産業振興に貢献
- ・日野郡で生産されたたたら製鉄を境港から船出しするため、天保6年(1835年)境村に「鉄山融通会所」が置かれ、これがきっかけとなり半農半漁の村だった境港が飛躍的に発展